

きたひろサービスネット通信

発行者 北広島市介護サービス連絡協議会 会長 三木千晶
事務局 〒061-1274 北広島市輪厚 704-16 エスポワール北広島内、島谷清張
電話：011-376-3911 / FAX：011-377-5621
Mail：kitahiroshakyo@rose.ocn.ne.jp（広報部会 風間）
：social@shojinkai.or.jp（広報部会 佐藤）

H26. 7. 31 現在 全市の人口 59,738人、65歳以上 15,842人－高齢化率 26.5%

65歳以上～75歳未満 8,982人－15.0%、75歳以上 6,860人－11.5%

『ドラえもんと のび太に学ぶ?』

現在、テレビで「いっしょにドラ泣きしませんか?」「大人も泣ける」という映画「S T A N D B Y M E ドラえもん」上映中のCMが流れています。「ドラえもん」は、1969年に小学館の学年誌で連載開始された漫画のキャラクターです。

私は映画を見ていませんが、「どこでもドア」「タケコプター」「暗記パン」があればいいなと子どもの頃に思っていました。また、学生ときには「ドラえもんはボランティアか?」という講師の問いかけに戸惑いを感じながらも、ボランティアとは何かという答えが出るようでない学習を思い出しました。

また、10年程前に神奈川県の逗子開成中学・高等学校の中学生が書いた「のび太という生き方」という作文（抜粋）では、「ダメなやつ のび太から人生について学んだことは癪ではあるが、僕以外にも のび太から色々学ぶべき人々は沢山いると思う。（中略） のび太の生き方を見ていると、大らかに、前向きに、自分を見失うことなく、淡々と生きていく事が大切だと思うし、親や友だち、ひいては社会に受け入れられているという実感もとても大切なことだと思った。また、のび太が夢を叶えることが出来た根本的な理由はドラえもん と出会ったからである。つまり、ドラえもんはロボットの形をした希望そのものであると言える。僕にロボットの形をしたドラえもんはいないけれども、心の中にドラえもんは存在する。希望を持ち続けることにより、心の輝きを失わずに、豊かな人生を送りたいと思う。」と書いています。

また、ある方は、「ドラえもんは、のび太の動きを監察し、定期的に進捗状況をチェックし、叱咤激励する存在。ゆっくり着実に のび太 を成長させたドラえもんの教育法は、のび太が自分から夢や目標に向かってすすむように促すところにポイントがある。教育とは『しっかりと見守ること、そして言葉を投げかけること』ということをドラえもんは教えてくれているのだと思います」というものもあります。

更に、この方は「心に響いたドラえもんの言葉10選」を紹介しています。

1. 「意地悪されるたびに 親切にしてやったら どうだろう」
2. 「他人にできて、君だけに できないなんてこと あるもんか」
3. 「いっぺんでいいから 本気で悩んでみろ」
4. 「毎日の 小さな積み重ねが 歴史を作っていくんだよ」
5. 「人にばかり頼っていては いつまでたっても 一人前になれないぞ」
6. 「どっちも自分が正しいと思っているよ 戦争なんてそんなものだよ」

7. 「ほんとのファンなら 落ち目のときこそ応援しなくちゃ」
8. 「過ぎ去った時間は もう二度と帰ってはこないんだ」
9. 「悩んでいるなら 一つでもやりなよ」
10. 「何にもしないで いきなり偉くなれると思うのかい」

こうした言葉が、知らず知らずのうちに、のび太の中に染みこみ、意識が芽生え、成功への階段を登る力になっている。心に染みる言葉は、色々な場面で思い起こし、自らを内側から支えてくれる。素直で本気 of 言葉を発し続けることこそ、人を変える力の源泉なのかもしれないと締めくくります。

皆さんにも心に染みる忘れられない言葉、自分を奮い立たせる言葉があるのではないのでしょうか。新任職員のみなさん「毎日の小さな積み重ねが自分を作っていきますよ。」

話は変わりますが、インターネットの動画サイト【YouTube】で視聴できる医療法人翔仁会「恋するフォーチュンクッキー」(<https://www.youtube.com/watch?v=iw84gDOMibc>)と、北広島団地地域交流ホームふれて「だいこんマンボ」(<https://www.youtube.com/watch?v=RKTV1JuNmMQ>)の動画もお見逃し無く!!

広報部会 K

★★ 事務局からの報告について ★★

当協議会は、平成18年10月21日に52事業所でスタートし、約8年間ほどが経過した現在は91事業所となりました。職員数は?と聞きたくなる方もおられると思いますが、そこまでは把握しておらず、今度何かの折に調べてみたいと思います。

これからも各部会役員を中心に介護技術等に関する研修会や情報交換を実施するとともに、組織運営や研修会等に関するご意見ご要望がありましたら、各部会の役員または事務局までご連絡願います。皆さまどうぞ宜しくお願いいたします。

★★ 会員事業所交流会のお知らせ ★★

昨年に引き続き、3回目となる交流会を下記日程にて実施しますので多数ご参加ください。なお、申込みなどの詳細は後日ご案内いたします。

- ◆日時：11月21日(金) 19時～21時
- ◆場所：北広島団地地域サポートセンター とともに 体育館
- ◆内容：チーム対抗ミニ運動会。種目などは通所部会部会長を中心に、市内デイサービスの精鋭職員が協議中。
- ◆定員：100名(予定)

☆☆ 地域部会のお知らせ ☆☆

今回の担当は、みなみ高齢者支援センターです。今回は、「市内高齢者支援センター合同事業」と「SOS捜索時の警察との連携」についてご紹介します。

北広島市ひがし・にし・みなみ・きた支援センター合同かいご者の交流会

各事業所の皆さまには、いつも大変お世話になっております。予防プランの作成はじめ、困難ケースや虐待ケースの対応の際など、各業者所の皆さまには、日頃よりご理解・ご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、私たち高齢者支援センターは、高齢者を介護する家族の介護負担の軽減、ストレス解消、知識・技術の習得、健康管理をはじめ家庭内での虐待リスクを軽減し、ご本人様と家族様の生活を支えていくことを目的とした家族支援事業や各担当地区において様々な形態で家族支援事業に取り組んでおります。

その取り組みの中で昨年、各高齢者支援センターの枠を越えて、介護者同士の交流やリフレッシュなどを目的に「かいご者の交流会」を合同企画しました。参加された方々から「お食事を囲んで楽しかった」、「普段、聞けない人の話しが聞けて良かった」など、大好評だった交流会を今年も開催いたします。

現在、お昼の居酒屋でお食事をしながら、介護者同士の交流やリフレッシュなどができる楽しいひとときとなるよう準備をすすめているところです。

今回の「かいご者の交流会」について、各事業所職員の皆さまには大変お手数ですが、ご家族様にご案内いただきたくよろしく願いいたします。詳しい内容は、以下の通りです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

北広島市ひがし・にし・みなみ・きた高齢者支援センター合同

かいご者の交流会

- 日時：10月8日（水） 11:00～14:00
- 場所：つぼ八北広島店
- 会費：1,500円

★申込受付は最寄りの高齢者支援センターまでお願いします。

★受付締切は、9月24日（水）までです。

SOS捜索における警察との連携強化

全国的に少子高齢化がすすんできているという話しはもう珍しくないほど耳にしますが、北広島市におきましても確実に高齢化の波は押し寄せてきており、高齢化率が50%を越える地区も見られ始めております。市の人口はゆるやかに減少している一方で、世帯数は増加の一途を辿っており、一人暮らしや老夫婦世帯が増加している状況です。その為1世帯当たりの介護を担う力の低下は避けられない状況で、要介護高齢者や認知症高齢者への虐待、徘徊による行方不明などのリスクも高まっており、地域の課題の一つとなってきております。

近年、北広島団地地区におきましては、認知症高齢者による行方不明者が目立っており、「認知症高齢者等SOSネットワーク事業」や「いどころ発信システム」(GPS端末を使った捜索)を活用する事例数が増加しております。

最近では、GPS端末で位置を確認できても「川沿いや森の中」など郊外の位置を示し、捜索時間がかかり、迅速に対応できないという事例が増えております。

北広島団地地区に限らず、こうした課題にどう対応するか、警察など関係機関との情報共有や捜索連携について協議を重ねた結果、「GPS端末による位置情報を警察と共有し、ピンポイントに人員を動員できる体制」が整備され、これにより迅速な捜索ができることとなりましたのでお知らせいたします。

まだまだ地域の中に課題はたくさんございますが、各高齢者支援センターでは「地域の課題をみんなで考えよう！できることから取り組もう！」の精神で努めて参りますので、各事業所の皆さまのお力添え・ご協力をよろしくお願い致します。

☆☆ 社会福祉協議会からのお知らせ ☆☆

(1) 福祉パネル展の実施について

下記日程で実施しますので、デイサービスの外出などでお立ち寄りください。

日 程	会 場
9月11日～ 9月16日	エルフィンパーク交流広場
9月23日～ 9月28日	北広島団地住民センター
9月30日～10月 5日	西の里会館
10月 7日～10月13日	輪厚農民研修センター
10月17日～10月21日	ふれあい学習センター夢プラザ

(2) ボランティアセンター研修のご案内

サロンやサークル、自治会などでも役立つだけでなく、今回も事業所職員のみならず、皆さんもご興味のある方は是非ご参加ください。

詳細は、10月1日に発行する社協広報誌などをご覧ください。

日 程	場 所	内 容 (講師予定)
10月9日(木) 13時30分～15時	福祉センター	レクリエーションのすすめ方講座 (北広島レクリエーション協会)
10月28日(火) 10時～12時30分	夢プラザ	防災研修～災害図上訓練(地図を用いて 防災対策を検討する研修/豚汁試食含む) (市役所危機管理課)
10月17日(金) 13時30分～15時	北広島団地地域サポ ートセンターともに	アロマの香りで認知症予防講座 (日本アロマ環境協会認定アロマセラピスト)
11月12日(水) 13時30分～15時	福祉センター	

(3) 赤い羽根共同募金「北広島オリジナル募金バッジ」のご案内

今年、はじめて北広島のゆるキャラ「まいピー」を使った募金バッジを作製しました。

500円以上の募金をしていただいた方に贈呈しております。
なお、募金500円のうち、作製費を除いた338円が実際の募金額となります。



☆☆ 公開講座の報告 ☆☆

(1) 8月26日に、居宅介護支援事業所部会と地域部会が「利用者・家族からの要求や苦情から支援を考える／講師～北星学園大学社会福祉学部教授 中村和彦先生」と題した合同研修会を実施しましたので、参加された方から感想をいただきました。

『利用者・家族からの要求や苦情から支援を考える』

医療法人やわらぎ 弓削陽彦

今回のこの研修を受講して、改めて苦情の対応については初期対応が重要であること。また、苦情などがでることは悪いことではないという中で私たちは仕事していることについて理解を深めることが出来ました。

また、苦情については、「日常における支援の在り方、サービス提供過程が反映されている」とのお話もあり、普段の自分のしている仕事が相手にとっては評価の対象になっ

たり、相手の要望に対してうまく対応することができなかつたりすることが続くと結果としては苦情になつたりするということで、普段の仕事をより気持ちを込めて行い、普段からより良い関係を築いていけるように十分な説明を意識して、その方にあつた支援をしていきたいと心から思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

にし高齢者支援センター 佐藤信一郎

『利用者・家族からの要求や苦情から支援を考える』の講話には、たくさんの方が参加され、興味関心が高いことを感じました。

苦情がないように努めながらも、苦情はあり得ることとして捉え、苦情後の適切な対応が何より大切であると感じました。

日々職員同士が同じ目標に向かい、助け合いながら業務をすることが今できることであり、心がけていきたいです。貴重なお話を聞けたことを感謝致します。ありがとうございました。